

開催報告

2022年1月13日に

『J・キャリア～女性の社会復帰サポート～コンソーシアム』キックオフイベントを開催しました。

40社59名の方に、ご参加いただきました。
コンソーシアム立ち上げの社会的背景・目的をお伝えし
「J・キャリア～女性の社会復帰サポート～」の実例をご紹介しました。

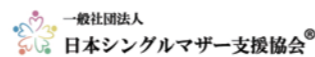
この取り組みを活用することにより、自社の課題発見・成長だけでなく
それが社会課題解決の実績にもなっている、4企業にお話を伺いました。

- 大同生命保険株式会社 / 雇用促進・定着支援
- 株式会社Casa / 新規事業の立ち上げ・新サービスの創出
- 日本製鉄株式会社 東日本製鉄所 / シングルマザーの積極的採用
- クラウドカンパニー株式会社 / 学んで稼ぐスキルと仕事の提供

そして、この取り組みを活用して就職されて
自立の道を進んでいる3名のシングルマザーの方に
活用した感想、意識の変化をお話しいただきました。

様々な事例に、皆さん熱心に耳を傾けられていました。
「様々な企業の実際の声を知ることができて、有意義だった」
「非常に良い取り組みだと思いました。有能な方が
たくさん埋もれていたらしゃるのことがわかりました」
「関係者の裾野を広げられる努力に期待します」
「J・キャリアを通じて就職された方の生の声が、とても印象に残っています」
「雇用側として、シングルマザーを受け入れるにあたり
どのようなことが求められているか知りたいと思いました」

今後は、コンソーシアムの参加パートナーを募集し
勉強会・研修・交流・インターン活用などを実施して
女性の社会復帰のサポートを拡大してまいります。



コンソーシアムに関する問い合わせについて
フォームで問い合わせる
電話で問い合わせる(045-534-8849)
J・キャリア 女性の社会復帰サポート コンソーシアム
事務局:一般社団法人 日本シングルマザー支援協会



女性の社会復帰サポート コンソーシアム



女性の貧困

～社会課題を民間の仕組みで解決する～

昨今、貧困が社会課題となっています。マスコミ等で多く伝えられるのは「子どもの貧困」です。しかし貧困は各世代へと広がっています。高齢者、女性、若者、シングルマザー、シングルファザーなどがあげられます。貧困の放置は、消費の停滞、人材不足、福祉費の増大による税負担など、後回しにして良い課題ではありません。また、社内に目を向けた時、貧困の連鎖が忍び寄っていませんか？親の介護や離婚などにより影響を受けることもあります。社員ひとりひとりの生活の安定、精神の安定にも無関係ではないのです。女性の貧困が生まれたのは、戦後の高度成長期の発展と共に核家族化が進み、女性は歴史的にないほど社会からも地域からも孤立し、家庭にひとり置かれてしまいました。家事も育児もひとりでこなす「ワンオペ」が主流になりました。今では男性や企業への風当たりも強くなっています。「ワンオペ」は昭和が生んだ諸悪の根源ともいえる男性中心の働き方が原因です。その結果、女性が経済力を持つことが難しくなり、また自己決定力もなく、メンタルに影響を及ぼしやすい環境が生まれました。その影響が男性や企業を悩ませる「モラハラ」「パワハラ」へと繋がっていくのです。この課題は、行政に任せていても手厚すぎる支援が多く、自立的支援は進みません。自立した人財を最も必要としているのは民間企業です。民間企業が力を合わせて、現場の新たな仕組みとして女性の貧困を解決することが、日本経済、各企業の成長へと繋がります。今、企業が丸となって、この課題に取り組むべきフェーズに入っているのではないのでしょうか。

一般社団法人日本シングルマザー支援協会
代表理事 江成道子

MISSION

社会復帰を目指す女性を取り巻く
社会課題の解決を目指します
社会課題解決(SDGS)を活用し
強い個人と強い企業を生み出します

社会課題

女性が自立できない
自己決定力の低さが貧困に
働く意識がある人
意識ができた人まで
埋もれてしまう

協会としての課題提起

男女の賃金格差の大きな原因として挙げられるのは「役職」に就いていないからとされているが……日本シングルマザー支援協会として提起したい課題提起は、女性が30代前後に、結婚・子育てによりキャリアを中断すること。「勤続年数」の差が、賃金格差に大きく影響しています。このことから脱却し、1日でも早く社会復帰を果たすことにより、貧困連鎖の解決となる「Jキャリア」に乗せることができます。

